

《3月定例会》

2月16日から3月14日までの27日間にわたり定例議会が開かれ、行政報告8件、市長提出議案28件、議員提出議案1件を審議しました。

【審議結果】

- ・市長提出議案28件…同意・可決
- ・議員提出議案 1件…可決

商工観光課

問 野牛・高岩1号調整池(古代ハスの池)観光環境整備事業の内容は枯れ葉の除去か。遊歩道の整備はしないのか。

答 枯れ葉の除去やハス用の肥料の購入費であり、デッキの整備予定はない。

道路課

問 橋梁長寿命化事業について、内容はどのようなものか。

答 5年に一度行う15m以上の橋梁の点検及び篠津地内の高台橋の補修を行うものである。

子育て支援課

問 ヤングケアラー支援は、研修だけなのか。その他の支援はないのか。

答 ヤングケアラーの問題は、デリケートな問題であり、研修の講師の話でも、児童に関わる人の感度を上げることが重要であると説明があった。

そのため、教職員を対象に研修を行い、まずは、周りの人のスキルアップにつなげたいと考えている。

福祉課

問 タクシー利用券*を1回に2枚利用できる市町村がある。当市ではどうか。

*特定の障がいのある方の社会活動の参加促進のために、タクシー利用料金の助成として福祉タクシー利用券を交付している制度。

答 タクシー券については、年間24枚を交付している。

市を動かす

令和5年度一般会計予算 過去最大の当初予算額

令和5年度
予算が
決まりました



一般会計当初予算……178億 3800万円

(前年度比は額で18億8800万円の増、率にして11.8%の増)

第1号・2号補正予算……8億 1389万6千円

(デジタル田園都市国家構想交付金等)

総額…186億5189万6千円

この券は、1回の乗車に対して1枚の利用が原則であったが、県では5年度から1回につき2枚利用できるようになるものである。

地域振興課

問 地域公共交通サービス構築事業について、元年度から比べて約1千万円増額しているが、今後も増えていくのか。

答 5年度は、のりあい交通の運行見直し時期であり、利用者が増加していることから1台増車することを考えている。5年度予算については、10月から半年間1台増車の費用を計上している。今後、利用状況により予算額が増えていくことも考えられる。

財政課

問 自動体外式除細動器(AED)設置維持管理事業が昨年度より安価で契約できたこととあったので、その分、設置箇所を増やすことは考えていないのか。

答 今後、設置場所の拡大を検討していきたい。

会派代表総括質疑

問 旧庁舎跡地貸付料に関する社会福祉法人光彩会との随意の土地賃貸借契約は、6月補正で予定された保証金も免除し、4年10月1日からの期間もその後、5年3月1日と変更したが、3月8日現在未締結だ。5年度予算ポイントの民間保育所が行う病児保育等の子育て支援事業が市に過剰な負担なく安全に行われるのか。

答 市と事業者は、契約手続きが整い次第、近日中に契約を締結する予定である。保育施設の建設に当たっては、保育所等整備交付金等の所定の手続きに基づき適切に補助金を支出していく。

問 白岡駅西口のまちづくりについて、1月31日に地権者を中心に計画が説明されたが、出席者は18人、駅はたくさんの市民が使うもの、広く市民に知らせるべきでその費用は予算にあるのか。ユーチューブで大量に発信、パース(透視図)の作成を白岡高校に依頼すれば、生徒の勉強にもなる。市民とともに駅周辺の整備はどうか。

答 白岡駅周辺は多くの市民が利用するため、どのような駅前広場を整備するのか周知を図る必要がある。そのため、広報しらおが5月号に駅前広場の整備について掲載するとともに、市公式ホームページに説明会の資料を掲載するなど情報発信をしていく。今後は、事業の進捗に合わせ公式ユーチューブなどの活用も検討しながら情報発信に努める。

議案
第26～
28号

可決

一般会計補正予算
(令和4年度第13号、
令和5年度第1・2号)

5年度一般会計の歳入歳出にそれぞれ4億8369万6千円(第1号)及び3億3020万円(第2号)を追加し、186億5189万6千円とした。国のデジタル田園都市国家構想交付金等を活用し、①道水路台帳GIS導入、②学校家庭相互連携システム導入、③公立保育所ICT導入、④ワクチン継続接種の4事業を追加した。

また、保健センター分館跡地のアスベスト除去事業を追加し、早期着手のため4年度に債務負担行為を設定した。

問 あと2週間ほどで新年度に替わる中、あえて4年度予算で白岡駅西口線代替用地表土入替工事及び搬出処理業務委託に要する額の債務負担行為補正を行う真の理由は何か。入札業務を早期に行いたいという理由だけか。

答 現在、白岡駅西口線の事業用地取得のため、用地所有者と交渉中であり、大筋で合意を得ている。このため、早期に移転補償契約を締結し、事業全体の工程への影響を少なくするために、債務負担行為を行い、4年度からアスベストを含む土砂の入替工事や残土処分の契約等の準備に着手する。

問 白岡駅西口線代替用地表土入替工事及び搬出処理業務委託費は、3億円を超える。2000㎡×深さ1.5mもの土壌を搬出・処分することになった調査の詳細なデータは。

答 県の指導のもとアスベスト調査を実施した結果、スレート内に非飛散型のアスベストは確認されたが、土壌中にアスベストの混入は確認されなかった。スレートの撤去にあたっては、スレートが敷地全体に散乱し、地中にも埋没しているため、平均1.5mの深さの土砂を処分する。

